

蜷川実花

Mika Ninagawa



Dogo Onsen

道後温泉

DOGO ART 2015

第二弾オープン (Ver.2)

PRESS RELEASE

2015.08.11 TUE

今年も道後がアートで彩られる。 写真家・蜷川実花をメインアーティストに 「道後アート2015」好評開催中！ 第二弾作品オープン

昨年、愛媛県・松山市「道後温泉」では、道後温泉本館改築120周年の大還暦を迎えたことを記念して「道後オンセナート 2014」を開催し、多くの観光客や市民に道後にお越しいただき、好評のうちに終了いたしました。

「最古にして、最先端。」温泉アートエンターテインメントをテーマに、温泉という地域資源にアートを取り入れることにより、「まち巡り」の回遊性を作ることに成功し、新たな道後温泉の魅力を発信することができました。

このように大きな成果を上げたことから、地元関係者や実行委員から継続開催の要望があり、道後でアートの事業を継続して行うことを決定いたしました。

今回はメインアーティストに写真家、映画監督である蜷川実花さんを迎え、「蜷川実花×道後温泉 道後アート2015」として、道後地区を蜷川さんの作品で彩ることで新たな話題性と、情報発信に繋げていきます。また、前年より続くプロジェクトとして、道後地区にあるホテルが参加する、宿泊対応可能なアート作品“HOTEL HORIZONTAL(ホテル ホリゾンタル)”のうち6つのホテル・旅館が継続して展開しております。

■ 「蜷川実花×道後温泉 道後アート2015」とは

2014年に開催されたアートフェスティバル「道後オンセナート 2014」のテーマ、「最古にして、最先端。」を引き継ぐ形で道後を中心としたエリアで展開されるアートの祭典。蜷川実花さんをメインアーティストに迎え、2015年5月1日から10カ月の会期中に道後地区に様々なアート作品が展開されます。

■ 開催概要

名 称：蜷川実花×道後温泉 道後アート2015（にながわみか かける どうごおんせん どうごあーとにせんじゅうご）

会 場：道後温泉およびその周辺エリア

会 期：2015年5月1日～2016年2月29日

第一弾オープン 2015年5月1日

第二弾オープン 2015年7月18日

第三弾オープン 2015年10月予定

※会期中に展開作品が徐々に増えていく予定です

主 催：道後アート実行委員会

www.dogo-art.com

■ プロフィール

蜷川実花

写真家・映画監督。木村伊兵衛写真賞など数々受賞。映像作品も多く手掛け、『さくらん』『ヘルタースケルター』では映画監督を務めた。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事。

オフィシャルサイト <http://ninamika.com>

蜷川さんコメント

日本最古の温泉と言われる道後温泉と取り組めるのは嬉しいです。特に本館は本物が持つ磁力を感じます。かつて夏目漱石が見たであろう景色と同じ景色や、きっと同じように湯上がりにお茶を飲んだのではないか、そういった事に思いを馳せながら、街を歩きました。道後温泉で初めて私の作品に触れられる方もたくさんいらっしゃると思いますので、そのことを楽しみにしています。また、私はよく「初めて買った写真集が蜷川実花さんでした」「蜷川実花さんの個展で初めて美術館という場所に行きました」という声をいただきます。その間口の広さは私の特色でもあるので、私の写真をきっかけにして、道後温泉の奥深さや街の魅力を感じていただけるような機会があることも期待しています。全体の作品に関しては、温泉に遊びにくることで、日常から少し離れる、その時に感じる高揚感や楽しさがさらに上がるように、そんな思いを込めて全体を制作しています。



昨年に引き続き、ローカルに重きを置いてコミュニティを形成する試みを続けることとして、道後アートプロジェクト（地元プロジェクトチーム）がブランディングおよびロゴデザイン、ポスターやサイン関係、webデザインなどのクリエイティブを担当します。「知る」「創る」「残す」という3つのアクションで道後の今とその価値を、これから先に受け継がれるような仕組みやデザインを創造します。

■ ブランディングコンセプト

アートにのぼせろ

※「道後オンセナート 2014」より継続

■ ロゴ

蜷川実花
Mika Ninagawa × Dogo Onsen
道後温泉
DOGO ART 2015

■ ポスター



■ 道後アートプロジェクトとは

地元根ざし、アートや演劇、まちづくりなどのNPO活動をしてきた4団体と若手クリエイティブチームがタッグを組みプロジェクトチームを結成。統括責任者・プロデューサーは松山市内でデザイナー・編集者・webクリエイターなどとユニット「THE 3rd FLOOR」を立ち上げ、昨年も前職を務めた松波雄大。

■ 蜷川実花 第二弾オープン作品

メッセージ

道後温泉で取り組みについて、多くの方からとても良い評価を頂いています。私の友人たちも今年は道後温泉に行きたいと言ってくれています。今回発表する、作品の第二弾は浴衣やうちわなど夏に向けてのもの、そしてホテルの部屋やカフェ、ウエディングドレスの展示などになります。どれも自信作なのでぜひご覧になって下さい。

1) うちわ

2つのデザインのペーパーうちわ、計15万枚を道後エリアで配布します。

配布期間：2015年7月1日～無くなるまで

配布場所：道後エリアの旅館・ホテル・商店街・道後温泉本館等

配布時間：無くなり次第終了



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

2) 浴衣

スプレー菊の写真をを使ったメインビジュアルと同柄のカラフルな浴衣と、椿の写真をを使ったグラフィックを大胆に配置した浴衣の2パターンがお目見え。道後温泉本館および13の旅館で貸し出し可能。

貸し出し期間：2015年7月末～2016年8月31日

貸し出しされる施設・旅館：

あたたかい宿 谷屋、葛城、宝荘ホテル、道後グランドホテル、
道後プリンスホテル、道後山の手ホテル、茶玻璃、花ゆづき、ふなや、
ホテル古湧園、ホテル椿館本館、ホテルナパーク、大和屋本店 2,160円(税込)

道後温泉本館 神の湯2階席以上をご利用の方へ貸出 800円(税込)

※貸し出し条件などの詳細は各旅館および道後温泉本館にお問い合わせください。



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

3) 蜷川実花×道後温泉 道後アート2015 ホテルギャラリー 茶玻璃「flowers」

レストラン内の柱と2つの個室の壁面に作品が展開されます。茶玻璃3階のレストラン「La Cuisine Japonaise 玻璃」を利用する方に作品を楽しんでいただけますので、ご利用希望の方は事前予約をおすすめします。

展示期間：2015年7月18日～2016年8月31日

展示場所：茶玻璃 3階「La Cuisine Japonaise 玻璃」

展示時間：11:30～14:30(ランチタイム)

15:00～17:00(アフタヌーンティータイム)

18:00～21:30(ディナータイム)

問い合わせTEL：089-945-1321



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

4) 蜷川実花×道後温泉 道後アート2015 ホテルギャラリー 花ゆづき

蜷川実花ディレクションブランド「M / mika ninagawa」のウエディングドレスを、蜷川さんの世界観に包まれたウィンドウディスプレイでご覧いただけます。

展示期間：2015年7月26日～2016年8月31日

展示場所：花ゆづき 3階ブライダルコーナー

展示時間：10:00～19:00

問い合わせTEL：089-943-3333



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

■ 蜷川実花 第二弾オープン作品

5) HOTEL HORIZONTAL 蜷川実花×道後プリンスホテル「TSUBAKI」

道後(松山市)にちなんだ椿をメインモチーフに、ホテルの洋室全体を蜷川実花の写真で一面を覆いました。ベッドのカバーやリネンもこのためだけに作られたオリジナルです。

展示期間：2015年7月18日～2016年8月31日 ※御見学は7月19日からです。

受付時間：〈宿泊予約が入っている場合〉

11:00～17:00(見学時間内の15分間)

〈宿泊予約が入っていない場合〉

10:00～22:00(見学時間内の15分間)

見学人数：1回6名まで

見学料金：1080円(税込)：子供(3歳～小学生)540円(税込)

谷尻誠「Sketch」と2部屋同時見学の場合1296円(税込)

年齢制限：なし

見学者特典：オリジナル缶バッジ(3種類)のうち1つ

問い合わせTEL：089-947-5111



©mika ninagawa.Courtesy of Tomio Koyama Gallery

6) HOTEL HORIZONTAL 蜷川実花×大和屋本店「PLANT A TREE」

東京・目黒川の桜を撮影したシリーズ「PLANT A TREE」の写真を格式高い和室に展開しました。襖、障子から座布団に至るまで特別なしつらえがなされています。また、ロビーでは蜷川実花の写真によるオリジナル・ランプシェードがお客様をお出迎えします。

展示期間：2015年7月18日～2016年8月31日 ※御見学は7月19日からです。

受付時間：11:00～15:00(各日11:00・11:30・12:00・12:30・13:00

13:30・14:00・14:30から25分間※要予約)

見学人数：1回8名まで

見学料金：1080円(税込)

年齢制限：3歳以上

見学者特典：オリジナル缶バッジ(3種類)のうち1つ

問い合わせTEL：089-935-8880



all images ©mika ninagawa.Courtesy of Tomio Koyama Gallery

7) 物販スペース

蜷川実花オリジナルグッズや写真集などを購入できる特設ブースが設置されます。

設置期間：2015年7月18日～2016年2月29日

設置場所：道後温泉観光会館1階

営業時間：9:00～17:00

● 第三弾オープン 10月頃を予定

● 道後温泉本館 外観ライトアップ

改築121年目を迎えた道後温泉本館が艶やかな蜷川作品で彩られます。様々な花の写真が北側、西側の障子・西側のガラスに設置され、南側3階では夜間、映像作品が投影される予定です。昼と夜とで表情が変わる、道後温泉本館全体を使った大規模展示をお楽しみください。

展示期間：2015年10月1日～2016年2月29日

展示場所：道後温泉本館

展示時間：終日(ライトアップは夜間、営業時間内)

※季節により異なります。



※写真は完成イメージです

● 道後アート2015×BEAMS オリジナルエコバッグ

「蜷川実花×道後温泉 道後アート2015」のメインビジュアルとBEAMSのコラボエコバッグが道後地区限定で展開。浴衣の貸出利用やイベント参加のノベルティとして配布予定。

配布期間：10月展開予定

配布場所：浴衣貸出場所・道後地区イベントでの配布等

※販売は行っていません。



収納時

表面

裏面

※写真は完成イメージです

■ 蛭川実花 第一弾オープン作品

1) ラッピング電車

路面電車1両を全面ラッピング。当イベントのメインビジュアルとして使用されている、蛭川実花さんの写真を使ったグラフィックを全体にまとった鮮やかな電車が松山市内～道後温泉駅を走ります。

展示期間：2015年5月1日～2016年2月29日

展示場所：松山市内

展示時間：伊予鉄道市内電車運行時間内

※点検やメンテナンスの際はご覧になれない場合もございます



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

2) 提灯ゲート

道後温泉駅から道後温泉本館をつなぐアーケード、道後商店街の正面入口に蛭川さんの写真を全面に配した提灯のゲートを設置。アートフェスティバルの雰囲気盛り上げる、道後のエントランスにふさわしい艶やかな雰囲気となるよう、蛭川さん本人が設置を提案。提灯は全面花柄で約90個を配置しています。

展示期間：2015年5月1日～2016年2月29日

展示場所：道後商店街正面入口

点灯時間：18時～23時

※季節により異なります。



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

3) 椿の湯 エントランス暖簾

観光客のみならず、地元客の利用も多い公衆温泉「椿の湯」。正面入口の約4メートル幅の暖簾が蛭川さん撮り下ろしの椿の写真で彩られました。

展示期間：2015年5月1日～2016年2月29日

展示場所：椿の湯



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

4) 道後温泉本館 エントランス陣幕

エントランス陣幕は、道後温泉本館改築120周年記念の時に設置した4メートル×45センチ幅のものと同サイズのもの。これも蛭川さんの写真を使いカラフルになりました。

展示期間：～2016年2月29日

展示場所：道後温泉本館



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

■ 蜷川実花 第一弾オープン作品

5) 道後温泉本館内 床の間作品展示(神の湯2階席)

蜷川さんが道後(松山市)にちなんで椿の写真をセレクト。

展示期間：2015年5月1日～2016年2月29日

展示場所：道後温泉本館内 神の湯2階席

展示時間：6:00～22:00 ※道後温泉本館営業時間に準じる

見学料金：神の湯2階席以上の使用料または又新殿観覧料



©mika ninagawa,Courtesy of Tomio Koyama Gallery

6) 道後温泉本館内 床の間作品展示(霊の湯2階席)

蜷川さんが道後(松山市)にちなんで椿の写真をセレクト。

展示期間：2015年5月1日～2016年2月29日

展示場所：道後温泉本館内 霊の湯2階席

展示時間：6:00～22:00 ※道後温泉本館営業時間に準じる

見学料金：霊の湯2階席の使用料



©mika ninagawa,Courtesy of Tomio Koyama Gallery

7) 道後温泉本館内 暖簾

温泉内の「男湯」「女湯」を示す暖簾も蜷川さんの写真を使った新しいデザインとなります。

展示期間：～2016年2月29日

展示場所：道後温泉本館内

展示時間：6:00～22:00 ※道後温泉本館営業時間に準じる

見学料金：神の湯2階席以上の使用料または又新殿観覧料



all images ©mika ninagawa,Courtesy of Tomio Koyama Gallery

■ HOTEL HORIZONTAL



道後地区のホテルが参加する、宿泊可能なアート作品の総称。各ホテルから提供される1室を、各アーティストが宿泊できる作品としてインスタレーション(空間演出)を施します。インスタレーションのテーマは「最も深い夢 The deepest dream」。同ホテル群のためのオリジナルウェブサイトを立ち上げ、道後地区のホテル・旅館が水平(horizontal)に連携することで出現する架空のホテルとして一体感を演出します。昨年展開した9部屋のうち6つが継続して展示されています。

石本 藤雄

「Suuri Taiga / 大草原」

2013年、石本藤雄の地元・愛媛県で行われた展覧会「石本藤雄展『布と遊び、土と遊ぶ』」の一会場となった茶玻璃。ここに、花のレリーフと、石本がフィンランドの代表的ファブリックブランド「marimekko」のデザイナー時代にデザインしたファブリックを用いて作られたリネンなどで、和洋を軽やかに融合させたオリジナルルームが登場。日本屈指の焼き物の町である砥部町(松山市に隣接)出身の石本が、砥部焼でオリジナル食器をプロデュースしました。

展示期間：無期限

展示場所：茶玻璃 TEL 089-945-1321

石本藤雄 (Fujiwo Ishimoto)

1941年、愛媛県砥部町出身、フィンランド・ヘルシンキ在住。
1970年にフィンランドに移り、1974年から同国を代表するファブリックブランド「マリメッコ」で32年に渡りテキスタイルデザイナーを勤め、現在はフィンランドの国民的製陶所「アラビア」のアート部門の一員として陶芸制作に取り組む。1994年カイ・フランク賞受章。2010年、フィンランド獅子勲章プロ・フィンランディア・メダル受勲。11年に旭日小綬章受章。13年9月から10月にかけて、故郷・愛媛で初となる個展「布と遊び、土と遊ぶ」を愛媛県美術館、砥部町文化会館、茶玻璃にて実施。



草間 彌生

「わが魂の記憶。そしてさまざまな幸福を求めて」

扉を開けた途端、草間彌生ワールドが広がるスペシャルな空間。異なる空間を持つ部屋の中には往年の作品から新作までが一堂に会し、草間彌生の魂の記憶を辿る、特別な時間を味わえます。床の間に設置する新型カボチャの作品や、幻想的に光を放つガラスのテーブルなど、ここでしか見ることのできない新作もご用意。もちろん食器からベッドまで、触れて味わえるホテルならではの作品も満喫できます。さまざまな幸福の形を探るひとときを心ゆくまでお楽しみください。

展示期間：2015年8月末

展示場所：宝荘ホテル TEL 089-931-7111

草間彌生 (Yayoi Kusama)

前衛芸術家、小説家。長野県松本市生まれ。

幼少より水玉と網目を用いた幻想的な絵画を制作。'57年渡米、巨大な絵画、ソフトスカルプチャー、鏡や電飾を使った環境彫刻を発表。'60後半には多くのハプニング、ファッション、映画も手がける。独創的な作品と活動はアート界に衝撃を与え前衛芸術家としての地位を築く。'73年の帰国後も国内外で作品を発表し、世界各地で野外彫刻を展示。精力的に制作を続け、全世界を飛び回り活躍中。1983年、第10回野性時代新人文学賞受賞(小説『クリストファー男娼窟』)。2000年、第50回芸術選奨文部大臣賞、外務大臣表彰。2003年フランス芸術文化勲章オフィシェ、長野県知事表彰(学術芸術文化功労)。第18回高松宮殿下記念世界文化賞絵画部門受賞。2006年、ライフタイム・アチーブメント賞(U.S.A.)旭日 小綬賞、高松宮殿下記念世界文化賞、受賞。2009年、文化功労者顕彰。2012年アメリカン・アカデミー・オブ・アーツ&レターズ会員。



©YAYOI KUSAMA/Dogo Onsenart 2014 & HOTEL HORIZONTAL, All Rights Reserved

皆川 明

「口」

縁のない真四角な琉球畳で全ての面が覆われた、天井も床も壁も、上下も左右もないような無限に広がる部屋。畳だけのシンプルな空間にキーポイントとなるように配される、ミナベルホネンのテキスタイル『skyful』のファブリックボードと、畳の香り高く爽やかな空間で穏やかに見守るような木が描かれた障子。宿泊者は『choucho』の刺繍を施したりネン類もお楽しみいただけます。

展示期間：2015年8月末

展示場所：花ゆづき TEL 089-943-3333

皆川 明 (Akira Minagawa)

1967年生まれ。minā perhonen デザイナー。

1995年に自身のファッションブランド「minā(2003年よりminā perhonen)」を設立。オリジナルデザインの生地による服作りを行い、国内外の生地産地と連携して素材や技術の開発に注力する。デンマークkvadrat社、英LIBERTY社をはじめとするテキスタイルメーカーにもデザインを提供。2006年「毎日ファッション大賞」大賞を受賞。近年は家具やうつわなどの生活デザインまた、青森県立美術館、東京スカイツリー®のユニフォームのデザインも手がける。2009年10月にはオランダ・ティルブルグのTextielmuseumにてデザイン展が、2010年9月には東京・青山のスパイラルガーデンにてミナベルホネン展覧会『進行中』が開催された。



©AKIRA MINAGAWA/Dogo Onsenart 2014 & HOTEL HORIZONTAL, All Rights Reserved

ジャン=リュック・ヴィルムート 「Time Science」

熱い湯に浸かりリラックスしたあとに、部屋に戻り茶を飲み静かに自分と向き合う。時を刻む3つの時計とそこから同心円状に伸びゆく波線のドローイングで構成されたシンプルな部屋空間で、過去を思い、未来を瞑想するような静かな時間を提供します。

展示期間：無期限

展示場所：道後やや TEL 089-907-1181

ジャン=リュック・ヴィルムート (Jean-Luc Vilmouth)

1952年フランス生まれ、パリ在住。RCA(英国王立美術大学)卒業。現代アートの国際舞台で最も注目されているアーティストのひとり。シドニー・ビエンナーレ、ベネチア・ビエンナーレ、ドクメンタなど大規模な国際美術展にて作品を発表。1997年にスパイラルで個展「魅惑のパー」を開催。2003年越後妻有アートトリエンナーレにも参加し、松代に「カフェ・ルフレ」を作る。現在はパリ国立美術学校(ボザール)にて教鞭を執る。



©JEAN=LUC VILMOUTH / Dogo Onsenart 2014 & HOTEL HORIZONTAL. All Rights Reserved

谷尻 誠 「Sketch」

特徴あるL字型の客室の、床、壁から家具など細部まで絵の具(ペンキ)で描かれます。3次元であるはずの部屋が、2次元のような絵画仕立てで構成され、その中にいる人が絵の世界に迷い込んだような錯覚に陥る空間です。

展示期間：無期限

展示場所：道後プリンスホテル TEL 089-947-5111

谷尻 誠 (Makoto Tanijiri)

1974年広島生まれ。2000年建築設計事務所suppose design office設立。2003年~穴吹デザイン専門学校非常勤講師、2011年~広島女学院大学客員教授を務める。主な仕事は、designtide08,09、ミラノサローネ東芝インスタレーション、これまで手がけた住宅は100件を超え、現在国内外で、インテリアから複合施設まで様々なプロジェクトが進行中。2012年3月、「100%の建築~僕は勘違いしながら生きてきた」を出版。THE INTERNATIONAL ARCHITECTURE AWARD(chicago)、福岡県美しいまちづくり建築賞大賞、モダンリビング大賞など、受賞多数。



©MAKOTO TANIJIRI/Dogo Onsenart 2014 & HOTEL HORIZONTAL. All Rights Reserved

葉山 有樹 「藍」

伝統ある旅館として知られる「ふなや」の和洋ふた間続きの部屋を手がけます。襖に仕切られた和室の空間を、一族繁栄を願う伝統文様、魚藻文の世界に変容します。オリジナル陶板作品も調度品として詠えます。

展示期間：2015年12月末

展示場所：ふなや TEL 089-947-0278

葉山有樹 (Yuki Hayama)

1961年佐賀県有田町生まれ。1975年当地の窯元に入社。1985年佐賀県山内町に開窯。2007年スパイラルにて個展、その後、フィンランドのデザインミュージアム(ヘルシンキ)にて同展を巡回、個展を開催。同年、ヘルシンキの陶器メーカーアラビアのアートデパートメントにレジデンスアーティストとして滞在制作。「詩想の旋律」(2005)、他作品集、「魚になった少女」(2007)他童話、「空飛ぶダンゴムシ」(2010)他小説など著書も多い。



©YUKI HAYAMA/Dogo Onsenart 2014 & HOTEL HORIZONTAL. All Rights Reserved

■ アートモール

「FABULA -寓話-」 / リリアン・ブルジェア

鷲(さぎ)伝説にはじまる道後の古い歴史物語を立体化し、道後温泉・椿の湯の壁面にレリーフとして表現。こどもの玩具に似せた巨大な彫刻が壁からせり出し不可思議な感覚を生じさせるとともに、伝説に本来なら登場しない動植物が周囲を囲み、ユニークな空想物語を提示します。

展示期間：無期限

展示場所：「椿の湯」壁面

展示時間：終日

リリアン・ブルジェア

1970年フランス・ベルフォール生まれ、ディジョン在住。1994年にエコール・ナショナル・スペリウール・デ・ボザール(ディジョン)を卒業。フランス、ヨーロッパを中心として多くのグループ展、個展で作品を発表するかたわら2008年よりエコール・ナショナル・スペリウール・デ・ボザールで教鞭をとる。また、近年はパブリックスペースを活用したプロジェクトを積極的に行っている。



©LILIAN BOURGEAT/ Dogo Onsenart 2014

「LASTing WAVE」 / 川瀬浩介

さまざまな表情を見せながら光が明滅を繰り返し、心地よい音の響きが空間に広がります。川瀬浩介は作曲家として活躍する一方、2002年から光と音を用いたアート作品を発表しています。昨年までは「椿の湯」ロビーに置かれていましたが、本年度からはホテル椿館へと設置場所を変更しています。

展示期間：無期限

展示場所：ホテル椿館 1階ロビー

展示時間：7時50分～21時50分まで、毎時50分から10分間、光と音の演出を行います。

川瀬浩介

1970年京都生まれ 東京育ち2002年、光のための音楽『Long Autumn Sweet Thing』を発表し、美術家としてデビュー。以来、「間口が広く奥行きのあるもの」を追求している。2005年には、愛知万博に参加。映像作品『ポピュラスケープ』の音楽を担当し、その雄大でロマンティックな楽曲は「この映像世界に魂を吹き込んだ」と評された。2010年、第13回文化庁メディア芸術祭に、代表作『ベアリング・グロックンII』が出展され話題に。2012年冬、東京スカイツリーで催されたイルミネーションイベントにて『光の音色～a tone of light』を発表。2013年には、森山開次、ひびのこづえらとの協働によるパフォーマンス『LIVE BONE』にてツアーを敢行し、デビューアルバムを3タイトル同時リリースした。



©KOHISKE KAWASE/Dogo Onsenart 2014

■ 大影絵

「People's Projections」 / スティーヴン・ムシン

「1000年先の道後温泉本館のまわりにある持続的な未来の姿とは何か?」をテーマに市民へのインタビューを行うワークショップを実施。そこから生み出された未来の物語を大きな影絵として展示します。

展示期間：無期限

展示場所：道後温泉冠山事務所壁面

展示時間：18:00～22:00

スティーヴン・ムシン

オーストラリア・メルボルン在住。エコロジーをテーマに、デザインとアートの分野で活躍。ドローイング、パペットワーク、子どもとのワークショップを通じたインスタレーション制作などさまざまなメディアで、サステナブルな、かつ、楽しい空想未来を描く。



©STEPHEN MUSHIN / Dogo Onsenart 2014

【媒体各社・ご取材のみなさまへお願い】

■ 取材ご希望の方へ

公式サイト (<http://www.dogo-art.com>) の下段に「取材申し込みはこちらから」というボタンがございます。こちらをクリックいただき、取材申請をお願いいたします。また、当リリースでご紹介している公式写真の貸出依頼もこちらからできます。

■ フォトクレジットについて

公式写真使用の際には指定のフォトクレジットを記載ください。お貸出しの際に詳細をお伝えします。

蜷川実花さんの作品の公式写真につきましては、各写真につき

「蜷川実花×道後温泉 道後アート2015」の記事だとわかる範囲内の利用であれば、

©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery と記載ください。

写真の単独利用については、

©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery/Dogoart2015 と記載ください。

■ ご注意いただきたい表記について

蜷川実花×道後温泉 (半角アキ) 道後アート2015

「M(半角アキ)/(半角アキ)mika(半角アキ)ninagawa」

道後オンセナート (半角アキ)2014

HOTEL(半角アキ)HORIZONTAL

※正式表記は英語。読みはホテル ホリゾンタル

■ 校正確認につきまして

- 1) 初校が上がりましたら、原稿確認をお願いいたします。原稿確認につきましては、道後アート2015のプレス宛 (press@dogoosenart.com) と ccで道後アート2015事務局 (dogoosenart@city.matsuyama.ehime.jp) にも送付をお願いいたします。
- 2) 記載内容によって校正確認先が複数となりますので、校正返却まで2～6営業日(土日・祝日休)を目安にしてください。急な校正には対応しかねる場合もございますのでご了承くださいませ。
- 3) 媒体が発行されましたら、道後アートプロジェクト 広報担当宛 (〒790-0011 愛媛県松山市千舟町4-6-2 3F 道後アートプロジェクト (THE 3rd FLOOR内)) に見本誌を2部送付(難しければ1部、もしくはデータ)いただけますようお願い申し上げます。テレビ、新聞、ウェブ媒体に関しましても放映日、制作物、掲載アドレスなどをお教えくださいませ。

【蜷川実花×道後温泉 道後アート2015へのお問い合わせ】

道後アート実行委員会事務局 担当:白形・池田・鎌田

TEL:089-921-6464 / FAX:089-934-3415

MAIL:dogoosenart@city.matsuyama.ehime.jp

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町5-6

道後アート実行委員会事務局(松山市産業経済部道後温泉事務所内)

【蜷川実花×道後温泉 道後アート2015広報関係のお問い合わせ】

道後アートプロジェクト 担当:地元広報窓口 清水淳子

TEL:080-6280-6970 / MAIL:press@dogoosenart.com

〒790-0011 愛媛県松山市千舟町4-6-2 3F

道後アートプロジェクト (THE 3rd FLOOR内)